科目番号	53002	分類	共通科目	履修者	看護科学コース （看護管理者プログラム）	学年
科目名	看護政策特論 （ Advanced Course in Nursing Policy ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○山西　文子	区分	必修	単位	1	時間数	15

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
看護制度・政策の決定プロセスと課題について学び、看護実践と政策への理解を深める。また、学生の知識及びこれまでの臨床経験等を通して得た看護上の課題を整理・抽出し、他の学問分野の理論を活用しながら解決策を考えてみる。 1）　看護を取り巻く制度・政策の実際と決定プロセスを理解する 2）　制度・政策の現状を理解したうえで、課題・問題点を整理し、解決策を提言できる能力を習得する		1. 看護管理学の継承・発展を担うために必要な研究能力
		2. 臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3. 看護管理者として、臨地においてリーダーシップを取りながら、エビデンスに基づく看護マネジメントができる能力
	○	4. ヒト・モノ・カネ・情報等のシステム的管理能力の向上
	○	5. 病院管理者の一員として管理能力を養い、病院経営に積極的に参加する姿勢

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1回	ガイダンス	山西
第2～3回	政策・政策立案過程、保健医療政策立案過程における現状と課題、看護職者と政策（看護関連法令を含む） 看護現場における政策的課題を抽出し、改善に向け政策に反映する方法	
第4～6回	看護現場における政策的課題・政策提言（ワーク）	
第7～8回	看護現場における政策的課題・政策提言（課題発表）	

事前・事後学習	事前学習：現場の看護の課題に対して関心を持ち、情報を多角的に収集するとともに課題の概念化・言語化をして授業に臨むこと。 事後学習：自ら発見した看護の課題に対し、深く理解し、解決していく姿勢をもつ。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	事前学習・授業への参加状況（20%）　課題発表の内容とプレゼンテーション（80%） フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎見藤隆子他：看護職者のための政策過程入門　第２版，日本看護協会出版会，2017年
備　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。